新津中央 コミュニティだより

発行者；新津中央コミュニティ協議会(新潟市秋葉区新津本町１-２-39 TEL 0250-24-4219 FAX 0250-24-4229) 発行人；中村信也
URL https://niitsuchuo.jimdofree.com/

2月1日(水)~3月5日(日)
新津地域交流センター
イベントホール(1F)にて開催

WELCOME ほっこりファミリー

製作者・来場者・スタッフなど、このイベントに参加された皆さんを、ほっこりファミリーと呼んでいます

新津の街中に
33日間だけ現れた
「ほっこりのもり」
訪れたみなさんを
ほっこり笑顔に
するもりです。

なかよし親子さん！
このあと新聞社の取材を受けていました。でも、男の子は元気いっぱいで走ります。なかなか大変な取材のようでした。２月９日の朝刊に掲載されていました。

この男の子。帽子を深くかぶり「イヤイヤ」でしたが、この笑顔になりましたよ。可愛いね！

つるしびなの豪華競演
統括責任者
小　山　裕　史

今年で２年目となる秋葉区自治協議会主催「秋葉区ひな・お宝めぐり」が開催されました。当コミ協では４回目となるこの事業。２月１日(水)から３月５日(日)まで、新津地域交流センターを会場として、中央・東部・西部・満日・阿賀浦の５コミ協での合同展示となりました。

今年も保育園・こども園・幼稚園・小中高校・介護施設・地域のお茶の間・一般企業など昨年以上の55団体79基の作品を展示いたしました。どの作品をとっても素晴らしい出来栄えで、イベントホールいっぱいに飾られたつるし飾りはたいへん圧巻でした。つるされた作品や事務局前のTVモニターに映った自分たちを見つけては、はしゃいでいる子供さんの姿を見るとほっこりとなりました。 ご来場いただいた多くの皆さんに喜んでいただけたのであれば幸いです。ご協力、ありがとうございました。

＜秋葉区ひな・お宝めぐり＞

鉄道の街 にいつ ひな・お宝めぐり

まちの駅ポッポ

むらき呉服店

マチノちえこ

サロン ド ケイ

加茂信用金庫 新津支店

新潟県信用組合 新津支店

のぼり旗を目じるしに、新津商店街21店舗と堀出神社を訪問。
大きな段飾りのお雛様や紙や布で出来た手作り感いっぱいのひな人形が出迎えてくれました。
お店の奥に鎮座しているもの、お客様テーブルを彩るもの、カウンター横で華やぐものなど、個性あふれるものでした。中には工作ねんどを使い、お客様同士が作り上げていくつるし飾りもありました。少しですが、私たちも貢献して来ました。

6つのコミュニティ協議会＜秋葉区ひな・お宝めぐり＞

小合地域コミュニティ協議会

小須戸コミュニティ協議会

荻川コミュニティ振興協議会

新関コミュニティ協議会

金津コミュニティ振興協議会

山の手コミュニティ協議会

昨年度から秋葉区全地域での開催となったこのイベント。新津地域交流センター以外でも、６つのコミ協がそれぞれの会場で展示をおこないました。各会場には、紙や布を使用したつるしびなを始め、段飾り・ひな人形とそのコミ協独自の作品が展示されていました。廻ってみると、その個性に驚かされます。お話を聞くと「そちらは、どのくらい来てますか？」と、他の会場の様子を気にしているようでした。小須戸コミ協さんでは新津地区と同様に、商店街にもたくさんのお雛様グッズが展示され、大勢の方が見に来られていました。来年も、11コミ協と皆様のパワーで、さらなる盛り上がりになればと願っています。

文化教養部

部 長　吉田亮一

昨年同様に、春に計画が決められない中での始まりでした。計画事業を進めるにあたり、専門部は勿論のこと、他からも共有できる多くの皆さんの力添えのおかげで、充実したものに近づけてきているように感じられます。歴史・文化・健康ウォークでは、担当者が下準備の時よりも参加者がより楽しめる内容で案内をされていたことが、とても印象に残りました。

行事参加の皆さんからの気さくな声掛けが、少しずつ増えているように思います。その声を真摯に受け止め、楽しく学べるように努力してまいります。

健康福祉部

部 長　三澤栄子

コロナ禍での生活も丸３年が経ち、すっかり今の生活に慣れてしまいました。健康福祉部は令和４年度も、フレイル予防・自学ひろば（一小３年生対象）の二本柱で活動して参りました。年々参加人数も増え、これからも皆様のお役に立てるように続けていこうと思っております。

コロナに対する政府の方針も決まったようです。令和５年度は、今まで出来なかったことや新しく企画したことを、どんどんしていこうと思っています。健康寿命が延びるように、みんなで頑張りましょう!!

一年間の活動を終えて

令和4年度

会 長
中村信也

コロナ禍ではありましたが、当コミ協関係の皆様、特に専門部員の多大なご協力を頂いて令和４年度の活動を終えることが出来ましたことを感謝申し上げます。

グリーンカーテン事業の継続、**歴史・文化・健康ウォーク**、ご来賓をお迎えしての**新潟弁によるラジオ体操開始三周年記念式典**、圧巻は多方面のご協力を頂き新津地域交流センターに展示された**つるしびなの豪華競演**など、高評価を得ることが出来たのではないかと思われる一方、各種会議。特に総会が出来なかった事が残念でなりません。

今後も変化して前進するコミ協である事を願っています。一年間、ご苦労様でした。

防犯防災部

部 長　湯浅真一

2022年度も終わろうとしていますが、今期を振り返ってみると、昨年同様のコロナ禍で様々な制約の中で、その対応が出来るように屋外での「起震車体験会」を開催。38名に参加いただき成功に終わりました。部会にての周知徹底・ラジオ宣伝やコロナ対応の屋外実施などより、手ごたえが感じられるものとなりました。

次に、完全ではありませんが、防犯防災部内の連絡網の整備です。メルアドの収集・整理で一括配信が出来るようになりました。世代的に厳しい状況ではありますが、先ずは少しずつ増やしてゆく予定で、全員への一斉配信が出来る連絡網の完成を目指します。

反省点も多々あり、月に１回だけの「児童見守り」です。当初は月１回ではあまり意味がないのではと代案も考えましたが内容的に代案がなく、今期も継続としました。

参加者の連絡などの一部を除き、「メール・SNS」を活用して結果を全員へ一斉メール配信が出来るように、今後に繋げてゆきます。

来期は、良いところは継続して、変えるところは変えて、よりよい活動が出来るようにしたいと思います。

環境緑化部

部 長　品田敏昭

令和４年度、環境緑化部の事業は部員・役員の皆さんのご協力やコミ協本部の的確な指示により、何とか達成できたと思っております。有難うございました。コロナに対する扱い方で、各部も事業によっては、対応に苦慮されたと思います。環境緑化部としても事業を場内・外に区別し、メイン実行であるグリーンカーテン出来栄えコンテストも無事開催され、作品も応募された方々の向上心を感じられる出来栄えでした。次回開催を期待するところです。また、新津川除草・クリーン作戦や秋葉山つるきり隊など、場外事業への参加にも感謝いたします。

今後も、部員の皆さんと部会を意見交換の場として活用すると共に、新事業などについても検討出来ればと思っています。是非、ご協力をお願いします。

令和４年度の部員の皆さん。一年間のご協力、ありがとうございました。

みなさん
ありがとうございました

文化教養部が全力で催した今年度の歴史文化講演会は、『桂家・その歴史となぞ 桂家調査その後』と銘打って３回シリーズが開催されました。これらの講演を通して、皆さんには秋葉神社の更なる理解と桂家の生き様が分かって頂けたのではないかと思っています。各回とも100名を超える方々の参加を頂き大変好評でした。共催を頂いた新津地区公民館様には感謝を申し上げます。

令和３年２月に出版された『新発田藩 越後蒲原の大庄屋 桂家』が 出版された後も次々と新発見が続き、それらを発表する大変よい機会となりました。庄屋という人たちの生き方などは、戦後の学習で学んだものとは随分と違った面が見えてきたように思われます。桂家の新津での功績を少しでも知ってもらえたのではないでしょうか。

来年度も継続した講演会を開催していく予定でいます。　（企画担当役員　小林俊介）

新津中央コミ協でボランティア活動してみませんか？

当コミ協の活動

① 防犯や防災を中心とした、安心で安全な町づくりなど。（安全な通学・起震車体験）
② 新津という町の歴史・文化や魅力を発信など。（歴史･文化･健康ウォーク・講演会）
③ 健康や福祉面での、地域住民のサポートなど。（フレイル予防・自学ひろば・ラジオ体操）
④ 町中の緑化活動推進と秋葉山の環境整備など。（コンテスト・写真展・クリーン作戦）

やってみたいけど？

興味あるけど･･･？

そんな方

どうぞ、連絡ください

当コミ協に対するご意見･ご要望･お問合せ

≪新津中央コミュニティ協議会事務局までお願いいたします≫

○ 〒956-0864　秋葉区新津本町１丁目２の39
新津地域交流センター１Ｆ
○ ☎ 0250-24-4219　　Fax 0250-24-4229
☞　電話は、月曜から金曜日の午前中にお願いします。
○ Ｅメール　niitsuchuo@gmail.com
○ お申込時には、お名前・住所・電話番号や内容を明記して下さい。

QRコードからも

新津中央コミュニティだより第55号をお届けします。今号では、**秋葉区ひな・お宝めぐり つるしびなの豪華競演**を中心にお伝えしております。 今回で４回目を迎えたこのイベント。初回時にある方とカメラを片手にまわっていると「なんかここにいるとほっこりするね。」という言葉が聞こえてきました。 私のアンテナが強く反応！ それからこのほっこりが私の相方になりました。昨年から、この空間だけではなく、いろいろな人が集まってくることもプラスされ、ほっこりのもりやほっこりファミリーと進化してゆきました。

次回はどのような進化を遂げるのか。皆さんと期待しましょう。　（広報部 塩田 記）

(注)新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。